

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策2_文化を創造する人材を「育てる」		
	(3)文化芸術活動を支える人材の育成		
事業名	音楽ファシリテーター養成講座 フォローアップ講座/ 音楽ファシリテーター養成講座 音を楽しむ時間です♪～音楽ワークショップってなあに?～		
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市文化振興財団	
市との関わり	その他	企画提案事業	指定管理者
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961 (内)90-2526

事業概要	開始年度	令和元年度			
	事業費	(予算) 市: 547	その他: 320	(決算) 市: 437	その他: 252
	内容	前年度までにファシリテーター養成講座を受講した方を対象とし、市民会館の鑑賞事業と連携したフォローアップ講座(1回)と、アーティストや音楽教師など、仕事として音楽に関わる方を対象に、音楽ワークショップ作成を目的とした講座(3回)を実施する。			
	目的	受講者がファシリテーターとして講座等を行った際に、参加者の創造力等を引き延ばす事が出来る技能を身につけることを目的とする。			
	目標	(数値) 定員30名		(昨年度)受講者7名	
	ねらい	(対象)講座/高校生以上 (求める効果) コミュニケーションや自己表現につながる「音楽ワークショップ」の手法を学び、日頃の音楽活動の能力向上を図る。また過去の受講者を対象に、実際の公演に参加してもらい本講座で学んだ技法のより一層の向上を目指す。 (アプローチ方法) 公開講座からスタートし複数年を掛けステップアップして、本講座で学んだ音楽ファシリテーターの技法により受講生に実際の公演に参加してもらい、継続的なサポートを行なった。			
	実績	令和元年 5月18日 フォローアップ講座実施 参加数5名 5月25日 発表公演『おとみっくと音の旅コンサート』(市民会館鑑賞事業「親子向け公演」) (参加受講者5名・入場者140名) 8月27日～10月31日 音を楽しむ時間です♪講座募集(応募数18名) 11月16日 第1回講座 参加数10名 11月17日 第2回講座 参加数10名 11月24日 第3回講座 参加数11名			
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市政だより ■ HP ■ ポスター・チラシ ■ フェイスブック・ツイッター ■ その他(音楽課程のある県内大学・専門学校へのポスター・チラシ依頼、市内のアーティスト・音楽教職員へのDM) 			

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1 基本 施策 と の 適 合	(1) 妥 当 性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>音楽に関わる仕事をしている方（アーティスト、音楽科教員、幼児施設や介護施設の職員など）が、普段の活動の中で「音楽ワークショップ」の手法を取り入れられるよう講座を実施できたことから基本施策2（3）①アートマネジメント人材等の育成に沿っており妥当。</p>
	(評価に関連する数値等)		
	(2) 達 成 度	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>受講者アンケートでは「たくさんの学びと気づきがあった」や「（前年度より）継続して受講し、ステップアップできた」などの意見をいただいたが、想定の応募定員数には達しなかった。再度の開催を希望する受講者や昨年よりも応募数が増えたことからニーズはあり、受講料や日程の見直しを検討したい。</p>
(評価に関連する数値等)			
(3) 波 及	<p>(評価の内容)</p> <p>音楽ワークショップの発表の場として市民会館鑑賞事業「親子向け公演」に出演してもらった。【基本施策1（2）①身近な場所で参加・体験ができる文化活動の充実への波及、基本施策2（1）③発表の場の提供への波及】</p> <p>多種多様な職業に就いてる受講者同士がグループワークを行うことで交流を促進できた。【基本施策4（2）①交流の場の提供への波及】</p> <p>講師に現役の音楽大学教授を招き、高度な音楽技法を受講者に提供できた。【基本施策4（2）③大学等との連携への波及】</p>		
	(評価に関連する数値等)		
2 戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 と の 適 合	(1) 市 民 主 体	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>音楽ファシリテーターの活躍の場として講師陣とともに「親子向け公演」に参加し、また各自の表現方法についても各受講者が主体となり作り上げるなど、受講者主体の活動につながることが出来た。</p>
	(評価に関連する数値等)		
	(2) こ ど も ・ 若 者	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>千葉市民会館「親子向け公演」において音楽ファシリテーター講座の発表の機会を設けた。「親子向け公演」は就学前児とその親を対象としたコンサートで、これから活躍の期待される若手プロアーティストと共に、楽器や体を使い、受講者と子ども・受講生と若者・子どもと若者の交流機会を創出できた。</p>
(評価に関連する数値等)			
(3) 領 域 の 広 が り	<p>(評価の理由)</p> <p>講座内のグループワークでは、年齢・職種のことなる受講者が意見を出し合い、一つの音楽表現をつくりあげていく中で、お互いの価値観に触れる機会を創出できた。またフォローアップ講座を行うことで、受講年度の違う受講者同士でのつながりができた。</p>		
	(評価に関連する数値等)		

3	事業のねらい	(1) 妥当性	<p>(評価の理由)</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4</p> <p>音楽ファシリテーターとして、グループに分かれて実際に音楽ワークショップを作り上げ、発表することで互いに評価しあった。その中で講師からより実践的なアドバイスをもらいファシリテーターとしてのスキルアップを図った。【基本施策2(3)文化芸術活動を支える人材の育成】に妥当する。</p>
		(評価に関連する数値等)	
3	事業のねらい	(2) アプローチ	<p>(評価の理由)</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4</p> <p>アンケートより参加した理由に「音楽ワークショップもしくは音楽ファシリテーターに興味があった」と「今後の音楽活動(教育・演奏等)に生かせる技術を身につけたい」が半数以上を占めた。また講座内容についての回答が「今回のような「体験」「入門編」講座を受講したい」と「しっかりと手法を身につけられるような「養成」講座を受講したい」の回答がほとんどだった。音楽技法をスキルアップしたいというニーズに合致した講座であるため、妥当である。</p>
		(評価に関連する数値等)	<p>アンケート結果</p> <p>・今回の講座に参加された理由：「音楽ワークショップもしくは音楽ファシリテーターに興味があって」33.3% 「今後の音楽活動(教育・演奏等)に生かせる技術を身につけたい」33.3%</p> <p>・「音楽ワークショップ」や「音楽ファシリテーター」に関する講座について：「今回のような「体験」「入門編」講座を受講したい」44.4% 「しっかりと手法を身につけられるような「養成」講座を受講したい」44.4%</p>
4	市民との関わり	(1) 満足度	<p>(評価の理由)</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4</p> <p>受講者を3つのグループに分けそれぞれ異なる年齢層を対象にする音楽ワークショップを全3回の中で作成し、最終日に発表をもらった。各グループがワークショップを創作する上で、既存の曲から楽曲や特徴を取り出してみたり、リズムを続ける・止める・変えるなど音楽に変化をつけてワークショップに取り入れたりといった実践的な技法を体験しながら教えていった。アンケートによる理解度については全員が「とてもよく理解できた」「概ね理解できた」との回答をいただいた。</p>
		(評価に関連する数値等)	<p>アンケート結果</p> <p>・今回の講座を受けて「音楽ワークショップ」について：「とてもよく理解できた」55.6% 「概ね理解できた」44.4%</p> <p>・自由回答「難しく感じることもありましたが、3日間とても楽しく音楽を学び触れることが出来ました。音楽の仕事に今後役立つ事も多く今回学んだ事を生かせたらと思っています。ステップアップの講座などあれば受けたいです。」</p>
4	市民との関わり	(2) 周知度	<p>(評価の理由)</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4</p> <p>市内施設だけでなく県内の音楽課程のある大学・専門学校にもチラシ・ポスターを配布したり、近隣の音楽教員向けにDMを送るなど広報活動を行ったが、応募定員には達しなかった。リピーターが少しずつ増えているため、リピーターを通しての広報活動も検討する余地がある。</p>
		(評価に関連する数値等)	<p>アンケート自由回答：「とても勉強になりました。何度目かの参加になりますが、参加する度に新しい発見があり、刺激的でした。今後も続けて頂きたいし、参加したいと思います。活動を続けて下さい。」「今回も楽しく参加することが出来ました。今回で4~5回目の参加ですが、やっと分かってきたような気がします。まだまだ音楽的なキャバが少ないので難しいです。少しずつグレートアップしていきたいです。」</p>

5 効 果	(1) 活 動 の 活 性 化	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 音楽に携わる仕事をしている方に向け、ファシリテーターの技法を伝えスキルアップを促せたのは人材育成の活性に繋がったといえる。また大学との連携として、現役大学教授を講師に招き講座を行うことで、最新の音楽技法を受講者へ提供できた。
		(評価に関連する数値等)	
	(2) 費 用 対 効 果	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 地域の文化・芸術活動助成事業として助成金の交付を受けるなど、費用の面でも効果的な事業展開が出来たと考える。アンケートからも次年度の受講を希望する方もおり、効果は充分であるといえる。
		(評価に関連する数値等)	
	(3) そ の 他 の 効 果	(評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載 (地域活性化等なんでも可)	
		(評価に関連する数値等)	